

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスタープラン： 3つの挑戦 / 子育て 施策番号： 3-4 局・課名： 教育委員会事務局 生徒指導課

| 事業名 | 生徒指導支援事業 | | | 事業費(千円) | 平成30年度決算額 | 令和元年度予算額 | 令和2年度要求額 | |
|--|-----------------------|-----------------------|-------------------|--|-----------|----------|----------|--|
| | | | | | 26,488 | 31,211 | 47,443 | |
| 【目的】 いじめ問題をはじめとする生徒指導上の問題の未然防止・早期発見・早期解決に向けた対策を講じ、秩序と活気のある静謐な教育環境づくりをめざす。 【内容】 ・いじめ防止対策推進法に定められた教育委員会附属機関の活用 ・性暴力附属機関設置 ・いじめ・暴力防止(CAP)プログラムを小学4年生を対象に全学級で実施 ・いじめ・暴力防止(CAP)プログラムを希望する中学校で実施 ・いじめを含め様々な悩みを抱える生徒に対する SNS等を活用した相談体制の構築 ・いじめの早期解決を図るための弁護士の活用 ・デートDV防止に向けた冊子等の作成及び教員研修の充実 ・学校のいじめ問題への取組を支援するいじめ巡回相談員の活用 ・ネットいじめ防止授業を小学4年生・中学1年生で実施 ・教員対象に「ネットいじめ防止にむけた指導者研修」を実施 ・子どもが自ら身を守るスキルを身につけさせるためのプログラムについて、教員研修を実施し、学校で実践 ・全中学校の生徒会役員など生徒会活動のリーダーが作成する「スマートフォン・携帯電話のルール」による啓発 ・体罰根絶をめざす研修資料を活用した教員研修の実施 【今年度要求のポイント】 ・いじめの認知の時点から、早い段階に弁護士とともに対応することで、早期解決を図る。 ・いじめ・暴力防止(CAP)プログラムを希望する中学校実施クラスを増やす。そのための経費の増額を要求する。 ・いじめを含め様々な悩みを抱える生徒に対する SNS等を活用した相談体制の構築の推進を図る。 | 債務負担行為 | | 期間 | 要求額(千円) | | | | |
| | | | R ~ R | | | | | |
| | 主な要求内容 | | | | (単位:千円) | | | |
| | 項目 | 元年度予算 | 2年度要求額 | 内容・積算等 | | | | |
| | いじめ巡回相談員 | 6,099 | 3,091 | 報酬・旅費 | | | | |
| | 附属機関委員 報酬 | 1,386 | 9,794 | 10,200円×7人×12回×2委員会、特別調査、筆耕翻訳料等 | | | | |
| | 子どものネットいじめ・トラブル防止対策 | 8,408 | 8,543 | ネットいじめ防止プログラム 指導者研修報償費 | | | | |
| | いじめ・暴力防止(CAP)プログラム | 7,374 | 7,519 | 全小学校・希望する中学校で実施(中学校10学級増)(小233学級+中30学級)×※29,028円 | | | | |
| | SNS等を活用した相談体制の構築 | 4,210 | 6,092 | 委託料:6,000,000円連絡協議会:92,000円 | | | | |
| | 児童会、生徒会等によるいじめの未然防止促進 | 1,400 | 3,004 | 生徒会活動リーダー養成、堺いわき生徒会合同研修 | | | | |
| 生徒指導課題等直接対応弁護士派遣事業 | | 7,000 | 10,000円(1時間)×700回 | | | | | |
| その他 | 2,334 | 2,400 | デートDV防止冊子他 | | | | | |
| 合計 | | 31,211 | 47,443 | | | | | |
| スケジュール(経過及び今後展開) | | | | | | | | |
| 【経過(～元年度)】 | | 【2年度】 | | 【今後予定(3年度～)】 | | | | |
| 平成27年度から、ネットいじめ防止プログラムを中学1年生に加え小学4年生でも実施 | | 新規:生徒指導課題等直接対応弁護士派遣事業 | | 継続実施 | | | | |
| 平成30年度から、SNS等を活用した相談体制の構築業務を実施 | | | | | | | | |
| その他 特記事項 | | | | | | | | |
| 関連事業: | | | | | | | | |